

# BIKE GATHER 2025

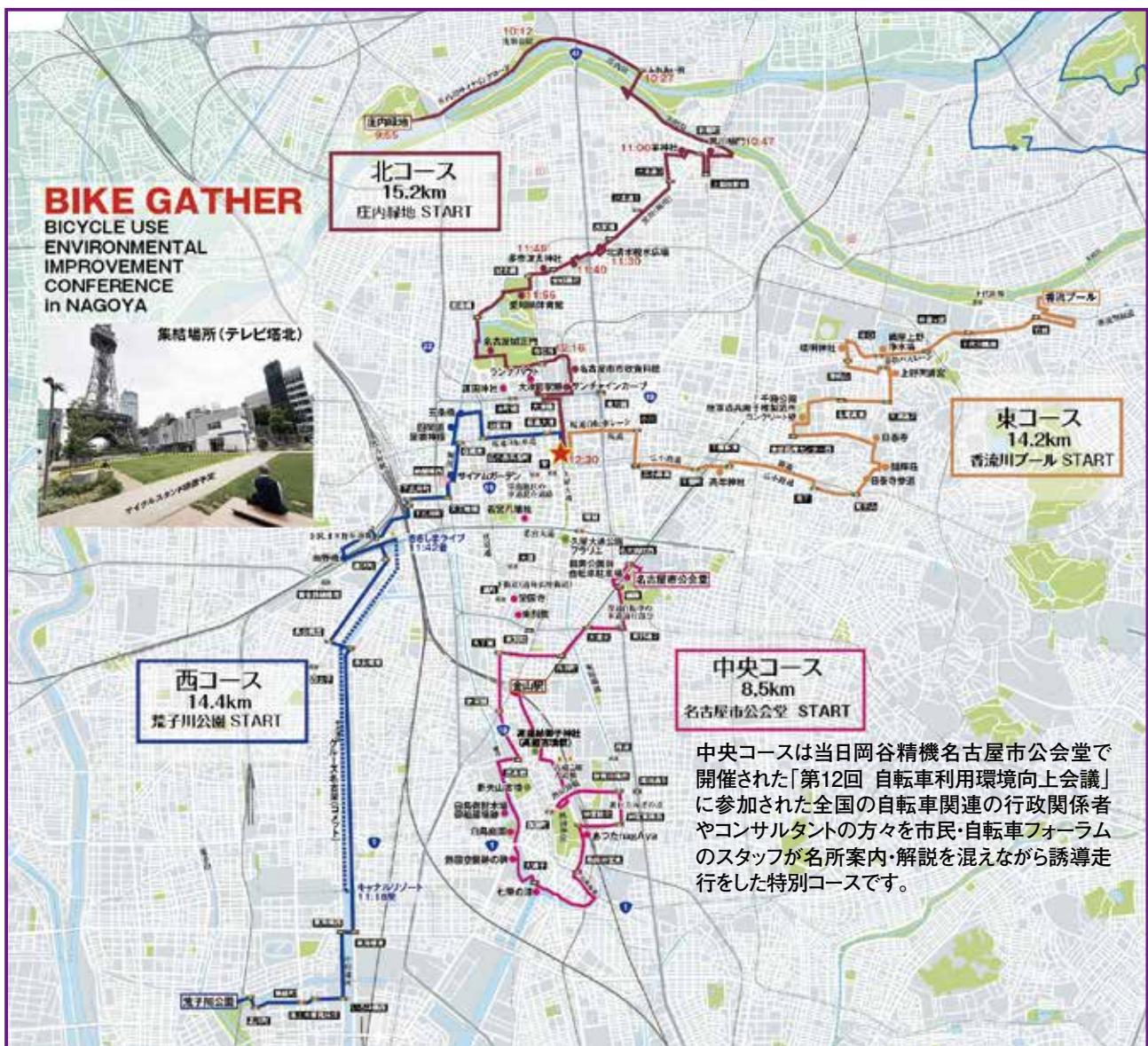
## イベント報告

特定非営利活動法人  
 **市民・自転車フォーラム**  
The Forum for citizens with bicycles

# BIKE GATHER 2025

## <概 略>

- 開催日／2025年11月1日(土)
- 集合場所／東コース……小原橋緑地(矢田川サイクリングロード)  
西コース……荒子川公園北駐車場  
北コース……庄内緑地 第3駐車場(公園南側)
- 時間／各コース 9時00分受付(西コースは10:00)、15時解散
- 参加者／各コース10名
- 参加費／無料
- 参加資格／小学生以上で30km以上走行できる方  
ご自分の自転車を所有している方  
(前照灯は必ず装備)



# 東コース

9:00 集合次第START(ゴール12:00~12:30着になるよう調整)

●参加人員 10名(男性7名・女性3名)

▼全行程が早送りでまとめたYouTubeのアドレスです。  
下記の画像はここから抜粋しました。

<https://youtu.be/wo4nP-BaaM4?si=plT319keJmeaKihm>

▲予定していた揚輝荘、日泰寺参道などが縁日のために車両通行止めになり、ショートカットせざるを得なかつたのが残念であったが、よく知っている千種公園に戦争遺跡があることを知らなかつた参加者が多くいてこの場所の歴史を知つてもらえたことがよかつた。



◀清明神社が名古屋にあることを知らない参加者が多く、直近のバス停が「清明山」ということに納得をされた。



◀名古屋の三大天神様のひとつ「上野天満宮」。北にある鍋屋上野浄水場から東山給水場まで真っ直ぐに伸びる水道道の緑道を南に向かつた。



◀名古屋空襲で傷ついた穴のあいたコンクリート壁の遺跡を見て、以前は名古屋陸軍造兵廠千種製造所であり、工場地帯であったことを認識した。また公園内は自転車に乗れないので、みんなで押しチャリをした。



◀高牟神社の境内に湧き出している清水は、「古井(こい・恋)の水」と呼ばれる靈水であり、現在は市内でも数少ない井戸の一つということに納得しつつ、この辺りの「古井の里」の地名発祥の地であることを知つた。

## 西コース

10:00 集合次第START(ただし11:00キャナルリゾート発の時間に合わせること)

●参加人員 10名(男性8名・女性2名)



◆荒子川公園北駐車場で集合。金城埠頭からさしまライブを結ぶ「クルーズ名古屋」に乗船するため10:00集合だが、12:30までにテレビ塔北に到着しなければならないという時間配分が難しいコース。さしまライブ駅の長い歩道橋を押しチャリする行程をカットして時間調整した。



▲小径車なら座席の前に自転車を乗せることができた。



▲▼唯一の上り坂である黄金ICランプウェイ横の向野橋に通ずる道は短いけれど傾斜の強い坂。全員が上り切ったようで、これも自転車の醍醐味。また一人で来たら絶対に上らないとの声もあった。楽しくグループでポタリングする自転車散歩ならではの経験だった。登り切った先の向野橋では見慣れた名古屋駅も初めて見る角度で感動したという参加者も。



▲初めての試みとして住宅都市局まちづくり企画部名港開発振興課に自転車を輸行バッグではなく、直接船に乗せて運行させる試みをお願いした。結果はいい感触だったとのお話をいただいた。



◆名古屋から佐屋街道を結ぶ柳街道から広小路通へ向かう。時間短縮のためルートを変更したコース。



# 北コース

9:00 集合次第START(ゴール12:00~12:30着になるよう調整)

●参加人員 10名(男性6名・女性2名・身障者1名・子ども1名)



◀身障者の三輪車と3歳児(中村区の自宅から庄内緑地までパパと一緒に自走してきたが、スタッフが栄までサポートした)の難しい編成だったが、他の参加者も声掛けなどして一体となって二人をサポートした。また名城公園から集合の時間に間に合わなかった参加者も合流して栄に到着した時は全員が健闘を称えあつた。

▼三階橋の樋門に向かうため、堤防道路の信号を横断するが、堤防からの階段と横断してからの避難帯もなく、傾斜の大きい下り坂は足の不自由な身障者には手を引いて歩いて下りた。



►三階橋の樋門のあたりに天然プールがあつたことが銘板に記されてあって、年配の参加者もびっくりしていた。ここから黒川沿いの遊歩道を通行したが、身障者の三輪車は入り口の車止めで進入できず、並行する車道をサポートして走行した。

◀北区内には小さな神社でも1,000年以上前の古社や地名になった神社もあることに一同驚く。



◀多奈波太神社は庄内川を天の川に見立て対岸の西区の星神社を牽牛星、多奈波太神社を織女星として昔から荒れた庄内川の伝え話になっている。とともに7月7日の七夕祭りは1,000年以上続いているという話は小さな神社もすごく大きく感じるという。自転車散歩もこういう話をすると充実する。

►途中合流のご夫婦も交えて名古屋市市政資料館での記念撮影。



# ランチミーティング

12:40 START



とりあえず一緒に走ってきた人とランチ



芝生が湿っていて車座にはできなかった



FCBのメンバーがMCを務めた



西コースのメンバーは活発だった



ママと合流した3歳のボク、よく頑張った

## 参加者からランダムに感想を聞いてみた

- 途中から路肩がなくなる箇所もあり、連續性を持たせて欲しい。
- いつも走っている速さに比べ、格段に遅くゆっくりと走った経験がなかつたので最初は物足りなかつたが、慣れてくるといろいろなものが見えてきて、いつもと違う楽しさを味わえた。
- 一人で走ることが多いので、集団で走ると安心して走ることができた。
- 名古屋にも知らない名所がたくさんあつたし、普段気にしない場所も気をつけて見るようにしたら楽しいと思うようになりました。
- 同じTシャツなので声をかけられ、「何で書いてあるの?」と聞かれ「自転車のルールとマナーを守ろう」と答えました。インパクトありますね。
- 名古屋クルーズをもっと活用できるようにしてほしい。乗船場もわかりにくいし、もっと広報してくれるといいのでは? 船と組み合わせれば、プライベート旅行もできるし、乗船場にシェアサイクルがあれば便利に観光しやすいと思う。
- 障害者にやさしいと思われる緑道に障害者が進入できないのはいかがなものかと思った。
- 名古屋にこんなにお寺や神社があり、さらに1,000年以上も経っていることにびっくり。スタッフの方にそんなガイドを作ってほしい。またこんなイベントがあれば、ぜひ参加したいし、友だちにも教えてあげたいので、また企画してほしい。
- 明らかに車道走行が危険な道路がたくさんあつた。来年から施行される道交法で危険な車道の見解は取締る警察官の主觀かなあとと思うとゾッとする。何か基準があるのですか?
- 外側線などのラインの表示が薄くなつてわからない場所が多い。
- 車道を右側通行する自転車が多いのにびっくりしました。
- 初めて車道を走って歩道より格段に凸凹が少なく走りやすかった。また集団で走ったので、クルマが避けてくれたけど、一人ではやはり恐いかもしれない。
- 自転車が走行できる通行帯(自転車走行空間)があまりにも狭いので恐い。このままならイベントの時は乗つてもいいけど、普段は乗らない。  
(この人は集合場所まで全て歩道走行してきた)
- 通行量の少ない2車線の道路でおじさんが車道の真ん中をフラフラと走行していた。こういった人はぜひ取り締まってほしい。
- お話を聞いていて次回は今回とは違うコースを走つてみたいと思いました。でもこんなグループで走つたからこそ楽しかったわけだと思うので、どなたかおしゃっていたように是非企画してください。
- 次回は全て車道走行じゃないと走れなかつたりして…(笑)
- その時は自転車通行帯がしっかりできていると思うよ(笑)

おかげさまで、参加者はとても楽しかったようで、解散する前に各グループごとにライングループを作り、お互いに連絡を取り合うようにした上で、開催してみてこちらサイドも非常によかつたイベントであった。